

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
<p>1 (著書)</p> <p>1. 『武道をたずねて—武道教育への活用—』 ISBN978-4-86429-481-2</p> <p>2. 『スポーツ人文学』 ISBN978-89-92801-36-2</p>	<p>共 (編著)</p> <p>単</p>	<p>2018年2月</p> <p>2016年6月</p>	<p>大学教育出版</p> <p>ANTIQUUS 出版</p>	<p>武道とは何か、武道の教育的価値体系とは何かという武道教育における原理的な問いを究明しようと試みたものであり、剣道、柔道、合気道、相撲、少林寺拳法、弓道、丈道など、それぞれの専門の視点から知見を述べたものである。(全 207 頁)</p> <p>編者：出口達也、<u>金炫勇</u>、瀬川洋</p> <p>本人担当部分：第 1 章 武道教育に求められるもの (pp. 1-21)、第 4 章 剣道の教育的価値 (pp. 49-76)、第 9 章 武道をどう生きるか (pp. 196-205)</p> <p>体育・スポーツとは何か、体育・スポーツの教育的価値体系とは何かについて究明しようと試みたものである。心身関係論のあり様、人格形成の理論的前提、体育・スポーツの目指すべき方向性など、沢庵宗彭著『不動智神妙録』に着目して、究明しようと試みた。従来の技能中心の指導内容を指摘したうえ、体育・スポーツにおいて智徳体のバランス取れた指導内容が学習者の人格形成につながると主張した。日本の近世初期の武道伝書には、今日の体育・スポーツにおいて活用できる点が多いことを示した。大韓武道学会の推薦図書。(総 251 頁)</p>
<p>2 (学術論文)</p> <p>1. A Study on Christian Perspective on Sports:Focusing on “Giving the best of yourself”</p> <p>2. 体育・スポーツ哲学における心身論に関する研究:華嚴宗哲学への着目から</p> <p>3. A Study on Mushin, the State of no Thoughts : Approach from the Diamond Sutra</p>	<p>単</p> <p>単</p> <p>単</p>	<p>2020年2月</p> <p>2019年6月</p> <p>2019年9月</p>	<p>Studies in The Humanities and Sciences, 60(2)</p> <p>体育・スポーツ哲学研究</p> <p>Studies in The Humanities and Sciences, 60(1)</p>	<p>2018年6月1日、バチカン市国は、スポーツに関する初の文書を発表した。本研究は、バチカン文書 N.180601b 「Giving the best of yourself」の内容を分析したものである。キリスト教はスポーツをどのように捉えているのかを紹介した。また、キリスト教とスポーツに関する誤解を明らかにした。(pp:1~13)</p> <p>体育・スポーツ原理論の一つのテーマである心身論、つまり心と体の関係について解明しようとした。従来の解明のツールである西洋哲学の限界を指摘したうえ、東洋哲学、主に仏教哲学(華嚴宗)から解明しようと試みた。心と体は二元論的に解釈してはいけないことを主張した。(pp. 33-46)</p> <p>体育・スポーツにおける「無心の状態」を解明しようと試みた。まず、無心とは何かという概念を解明した。そして、無心とパフォーマンスの関係について解明した。特に、仏教哲学のなか、金剛経に着目して無心の状態とは何か、なぜ無心の状態がスポーツにおける完璧なパフォーマンス演出につながるのかについて解明しようと試みた。(pp:101-114)</p>